

自動車検査の周期

基本的考え方

自動車検査の目的は、自動車の安全の確保・環境の保全

検査整備制度の制度設計に当たっては、ユーザー負担の軽減や利便性の向上に配慮

検査の周期を定める際の視点

- ・ 不具合の発生状況
- ・ 不具合が事故や環境汚染に与える影響
- ・ 使用実態、公共性
- ・ ユーザーの保守管理状況
- ・ 諸外国の状況
- ・ 技術の進捗状況

現在の取り組み

14年12月：総合規制改革会議答申
15年3月：規制改革推進3カ年計画(閣議決定)

望ましい制度の在り方について、必要なデータ等を収集の上、常に検討して改善。
その際、国民への説明責任を全うし、十分な透明性を確保する。

データ収集(12年度～15年度末)

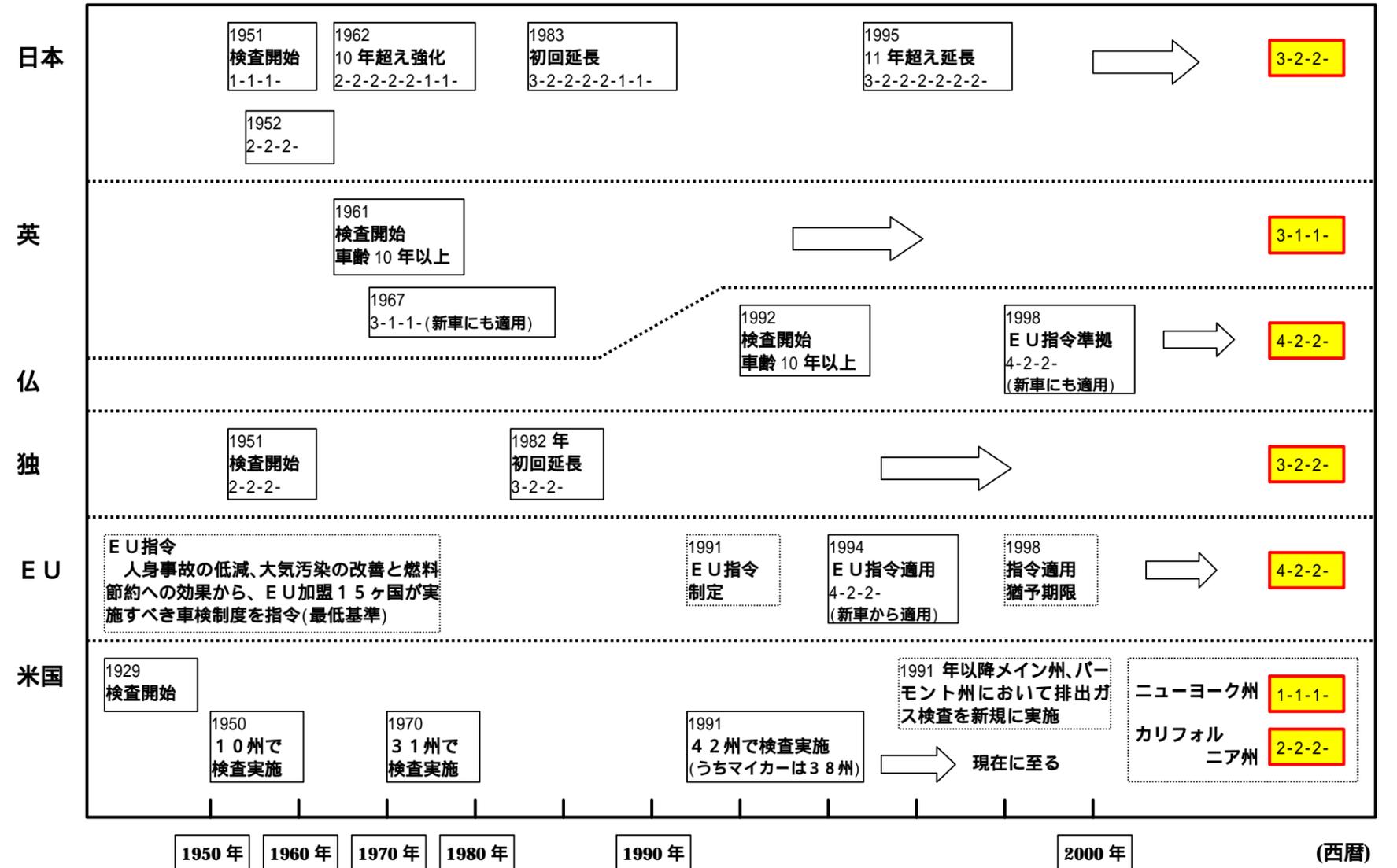
検査時における不具合実態等を分析するためのデータ(各車種について実施。合計70万台分)
収集時期：平成12年度～平成15年度末

検討会(10月末立ち上げ)

収集されたデータの分析
検査の周期の変更による影響の試算
(例：交通事故、環境)

日欧米の検査の周期(マイカーの場合)

自動車検査は欧米でも行われており、その周期はほぼ同様である。

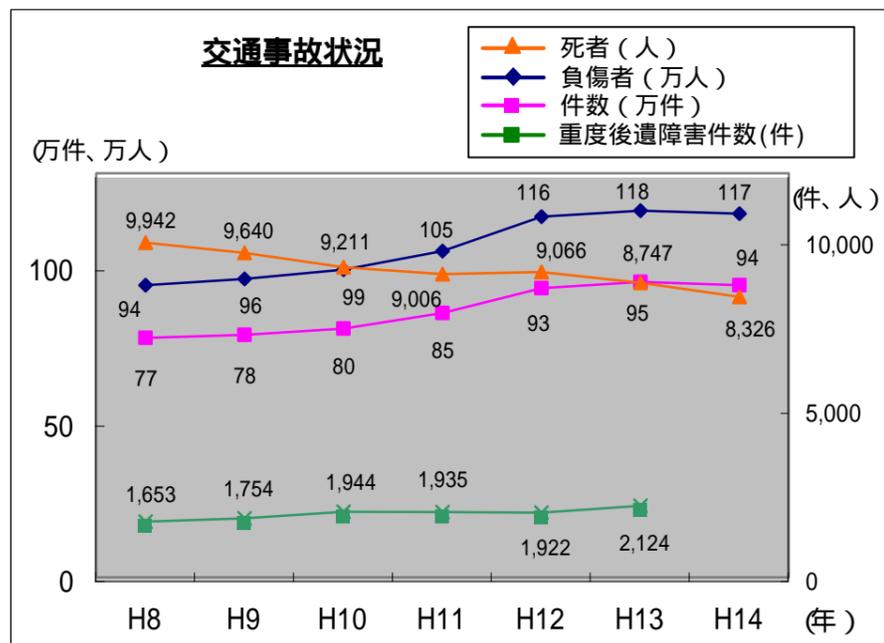


見直しの経緯

- 昭和58年：マイカーについて、検査の周期を初回2年から3年に延長。
- 平成7年：車齢11年超のマイカー等について、検査の周期を1年から2年に延長。
すべての自動車について、定期点検整備の実施は、検査の前後を問わないこととした。
- 平成12年：車両総重量8トン未満のトラック等について、検査の周期を初回1年から2年に延長。

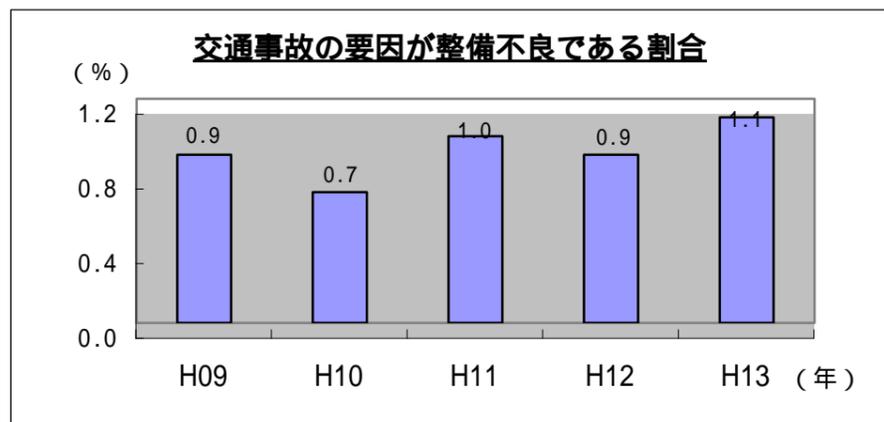
自動車を取り巻く状況

交通事故の状況



注：重度後遺障害件数は年度。

出典：警察庁交通統計
国土交通省資料



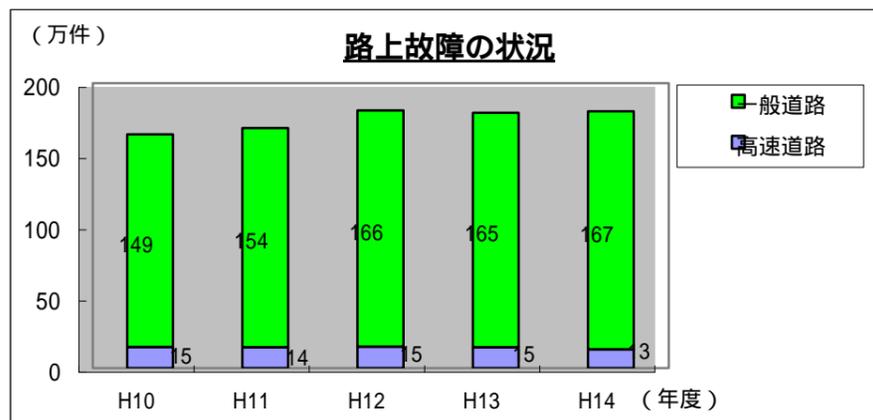
出典：(財)交通事故総合分析センター

(参考)
米国の状況(整備不良が要因と認められる事故)

検査実施州：0.5% ~ 1.5%
検査未実施州：0.5% ~ 3.5%

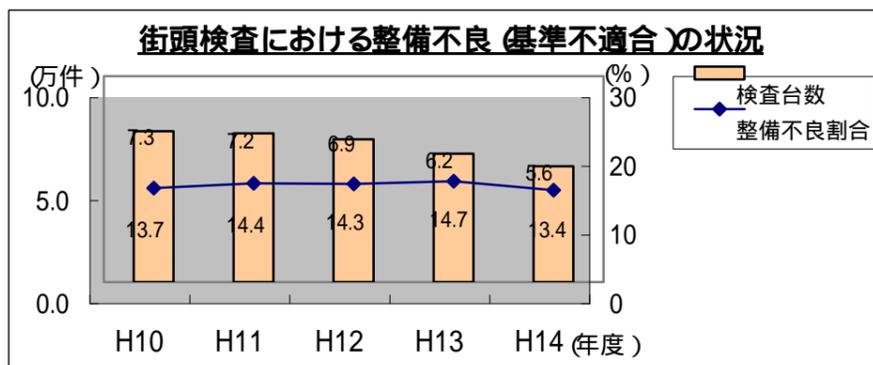
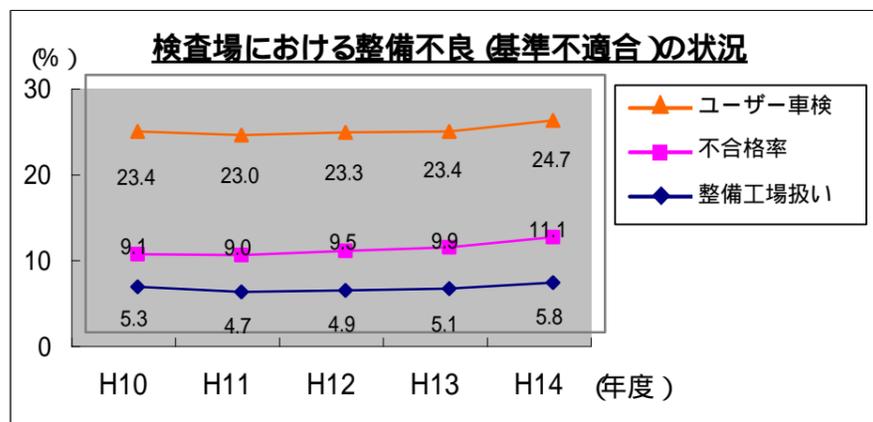
出典：米国運輸省国家道路交通安全局(NHTSA)

故障の状況



出典：(社)日本自動車連盟

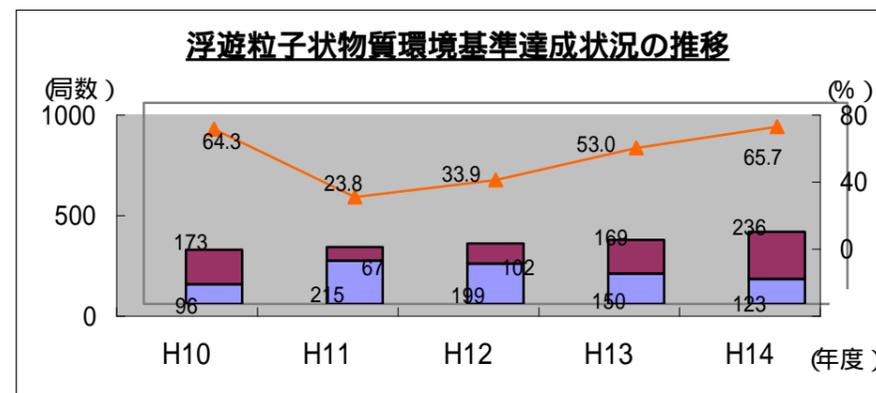
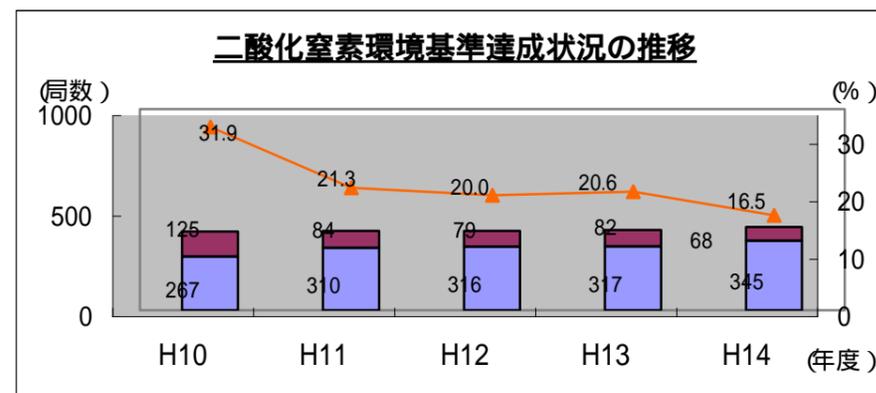
不具合の状況



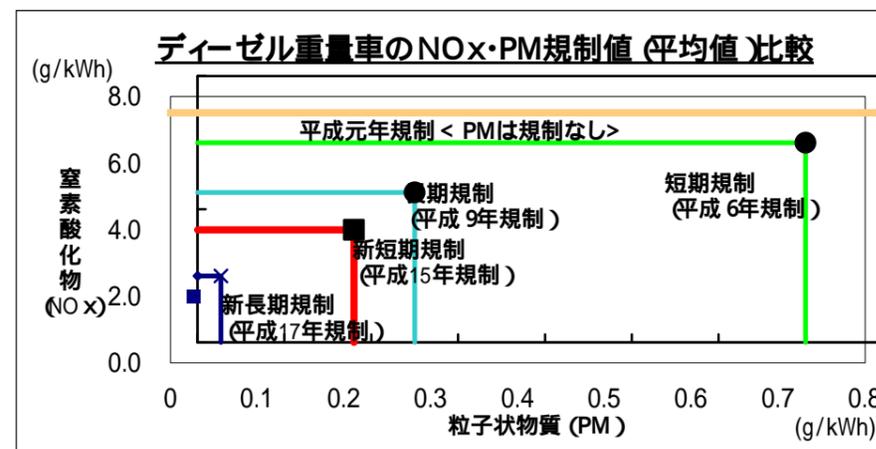
環境の状況

交差点、道路、道路端付近に設置されている自動車排出ガス測定局のデータによる。
(出典：環境省資料)

凡例
▲ 未達成
■ 未達成局
□ 達成局数



環境規制の状況



点検整備費用の状況

(自家用乗用車(1501~2000ccクラス)の継続検査時)

検査時の点検整備費用はサービスの内容に応じて多様化しており、ユーザーの意思により選択が可能

検査時の点検整備、検査費用				自動車重量税	自賠責保険	合計	
検査手数料	点検整備料(受検代行料を含む)		計				
ユーザー車検	本人受検	1,400円	0円	1,400円	37,800円	27,630円	66,830円
	代行受検	1,400円	5,000円 ~20,000円	6,400円 ~21,400円			71,830円 ~86,830円
整備工場	ニューサービス	1,100円	25,000円 ~89,000円	26,100円 ~90,100円	65,430円	27,630円	91,530円 ~155,530円
	従来方式	1,100円 ^(注)	37,000円 ~99,000円	38,100円 ~100,100円			103,530円 ~165,530円

- ・ 代行料
- ・ 下廻り洗車料
- ・ テスタ料

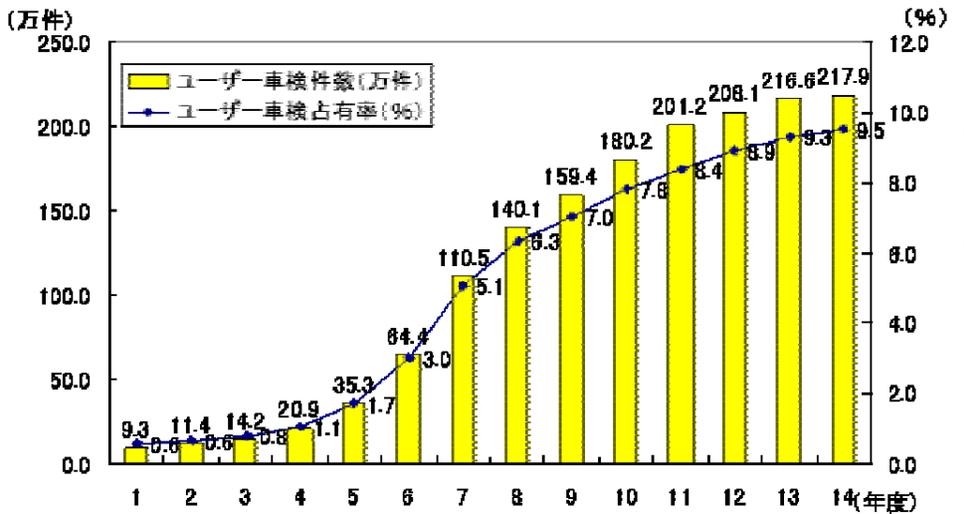
- ・ 上記料金
- ・ 点検料
- ・ 整備料
- ・ 部品・オイル代

平成5年
42,000円
~100,000円

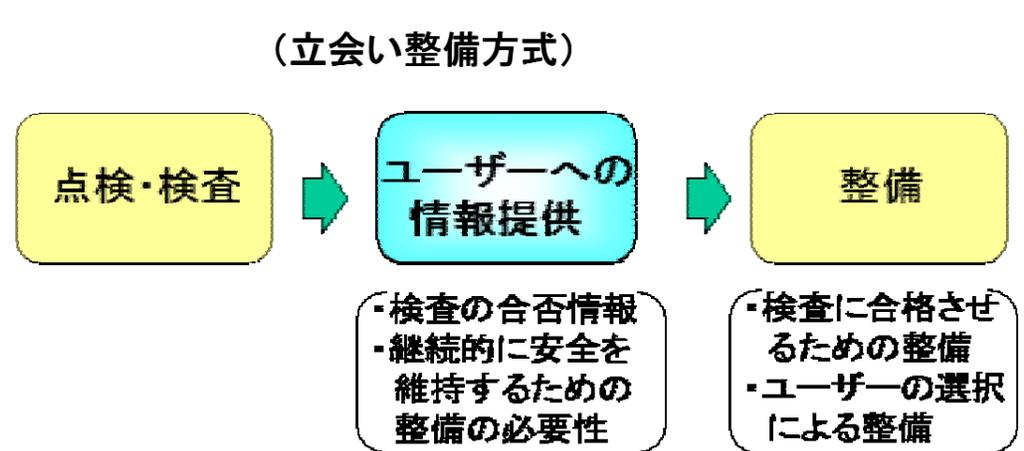
□ 従来からあるサービス

近年新しく導入されたサービス

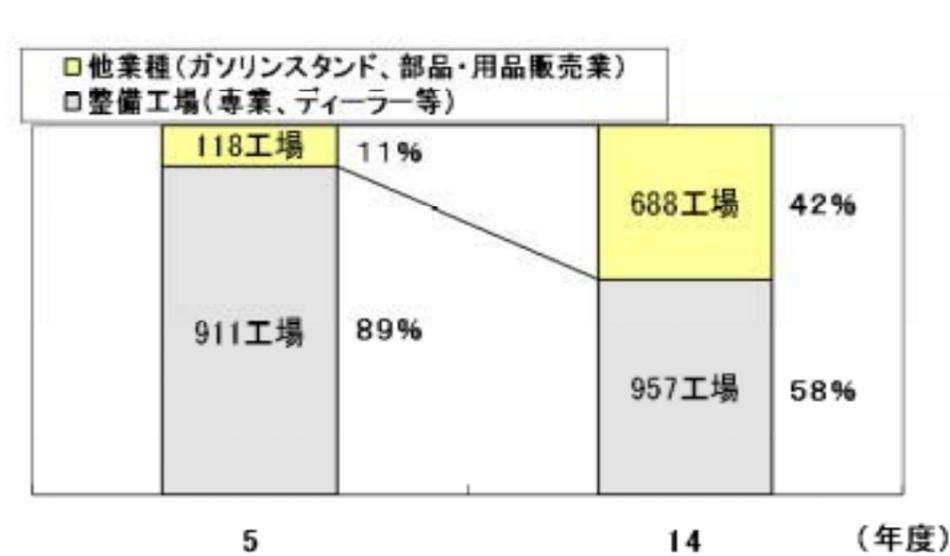
ユーザー車検の推移



ニューサービスの概要 (立会い整備方式)



新規参入事業者の多様化の進展



出典: 点検整備費用のうち整備工場扱いは日整連調査の整備料金実態調査結果(平成14年)、ユーザー車検関係は国土交通省調べ。
注 指定工場の場合。認証工場の場合は1,400円。